

日本印刷産業連合会

低炭素社会実行計画 パワーポイント説明資料



Japan Federation of Printing Industries

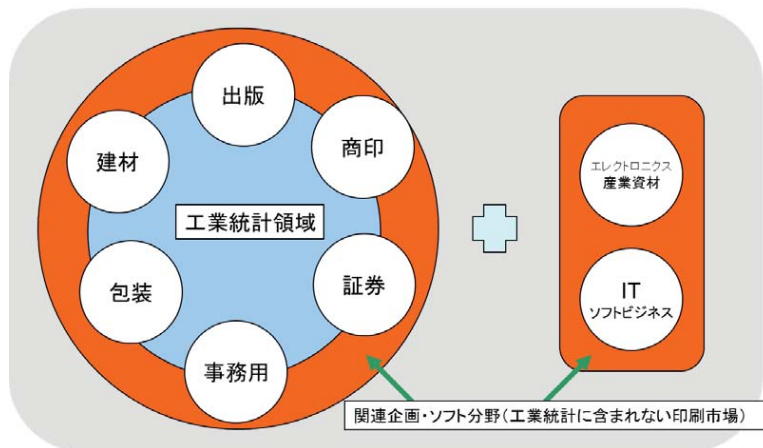
<目次>

1. 印刷産業の概況
2. 印刷産業の自主行動計画
3. 低炭素社会実行計画の目標と課題

1. 印刷産業の概況

ゲーテンベルグ以来「知」の拡大再生産を担ってきた印刷産業は「情報価値創造産業」として大きく変貌しています。製造業として技術革新を積極的に推進し、また、新しい領域でのビジネスの創出・ビジネスモデルの提案を積極的に進め、価値ある情報を取り扱う産業として発展しています。

印刷産業の市場規模(概念図)

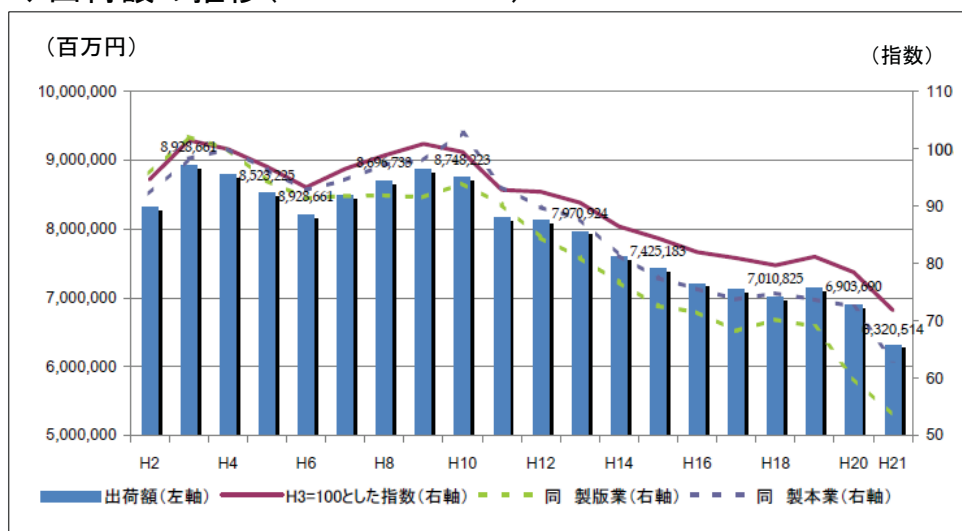


3

・環境変化に直面する印刷産業

21世紀に入り、印刷産業をめぐる環境も大きく変化しました。インターネットや携帯電話等のメディアが本格的に普及し、2000年以降、2008年のリーマン・ショックを経て、下記グラフに見るように、印刷産業の出荷額は需要減により一貫して低下傾向にあります。

◆出荷額の推移(2000～2009)



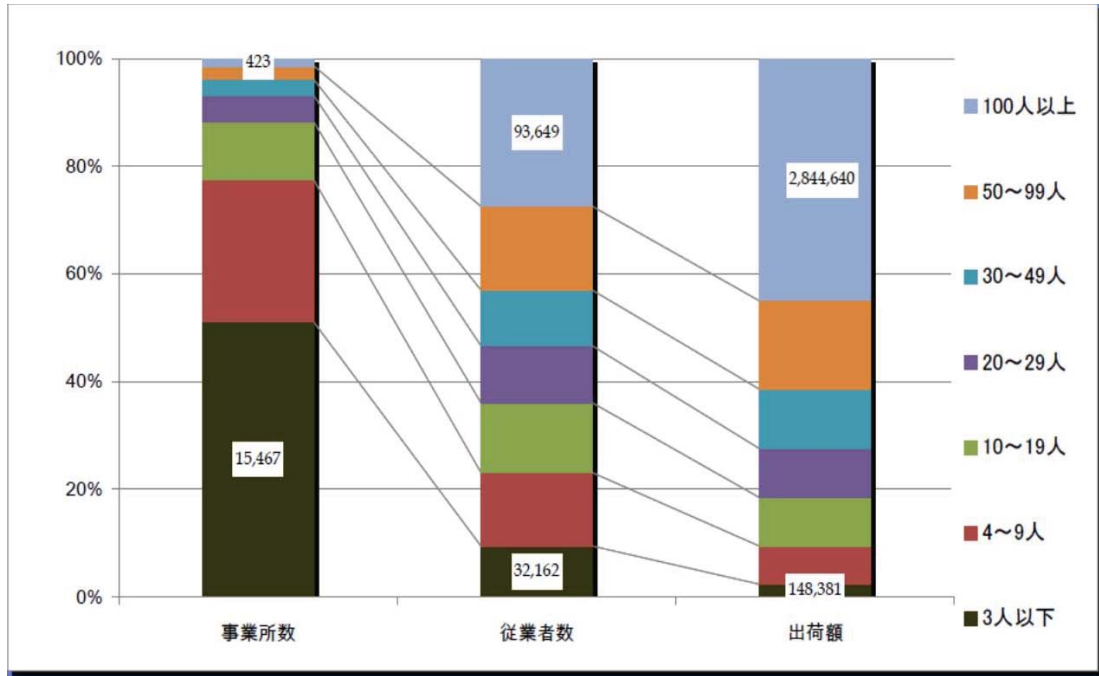
出典：『マーケティング・データ・ブック 2012年』（日本印刷産業連合会発行,2012）
経済産業省工業統計データをもとに作成

4

○印刷産業の規模

印刷産業は98.6%が従業員100人未満の中小企業であり、残り1.4%の100人以上の企業が出荷額の45.0%のシェアを占めています。また、ほぼ半数(51.0%)の事業所が3人以下の規模の産業構造です。

◆印刷産業の事業所数・従業員数・出荷額



5

2. 印刷産業の自主行動計画

印刷産業の自主行動計画は、参加各企業の事業計画に基づく生産見込み、省エネ努力の継続によるCO₂排出量の見込みを基礎として、以下のように策定・推進します。

◆目標

- 目標指標をCO₂排出量の総量とする。
- 2010年度におけるCO₂排出量を2005年度比で7.7%削減する。
- 上記目標は、2008~2012年度の5年間の平均値として達成することとする。
- 購入電力CO₂排出原単位の改善(電力自主行動計画: 90年度比20%改善)を含む。
- 各参加企業の見込みの積み上げから目標値を設定している。

業界全体の規模		業界団体の規模		自主行動計画参加規模	
企業数	約29,000社	団体加盟企業数	9,270社	計画参加企業数	101社 (0.35%)
市場規模	売上高 61,761億円	団体企業売上規模	売上高約60,580億円	参加企業売上規模	売上高 31,488億円 (50.9%)

○カバー率

- 売上金額のカバー率としました。
- 参加企業101社の2010年度売上規模は、業界全体の市場規模の50.9%。

6



○平成23年度における自主行動計画の実績概要

目標指標	基準年度	目標水準	2011年度実績	CO2排出量	CO2排出量	CO2排出量
			(基準年度比)	(万t-CO2)	(万t-CO2)	(万t-CO2)
			()内は、2010年度実績		(前年度比)	(基準年度比)
CO2排出量	2005年度	▲7.7%	2.2% (▲14.5%)	127.2	19.5%	2.2%

◆2011年度の実績は127万t-CO2ですが、これは東日本大震災に伴う電力供給体系の大きな変化による電力の炭素排出係数の大幅な変化によるものです。震災がないと仮定した場合の排出係数を用いると、103万t-CO2となり、目標に対し17.3%の削減となります。

なお、削減したCO2排出量の内、本年度に実施した温暖化対策の効果は、2.7万t-CO2です。

(参考) 目標期間4年間の実績

項目	単位	2008～2011年度実績の平均値
売上高	億円	31,623(109.8%)
エネルギー消費量	万KL	66.8(97.4%)
CO2排出量	t-CO2	113.4(91.1%)
エネルギー原単位	KL/億円	21.12(88.8%)
CO2原単位	t-CO2/億円	35.9(83.0%)

()は基準年度比 (2005年度)

7



○エネルギー原単位の推移

実績値	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度 (注1)	2008年度 (注2)	2009年度 (注1)	2009年度 (注2)	2010年度 (注1)	2010年度 (注2)	2011年度 (注1)	2011年度 (注2)
売上高 (億円)	28,812 (100.0%)	29,744 (103.2%)	31,080 (107.9%)	32,055 (111.3%)	32,055 (111.3%)	31,969 (111.0%)	31,969 (111.0%)	31,488 (109.2%)	31,488 (109.2%)	30,981 (107.5%)	30,981 (107.5%)
エネルギー消費量 (万kl)	68.56 (100.0%)	69.44 (101.3%)	69.75 (101.7%)	68.51 (99.9%)	68.51 (99.9%)	65.97 (96.2%)	65.97 (96.2%)	66.69 (97.3%)	66.69 (97.3%)	65.97 (96.2%)	65.97 (96.2%)
CO ₂ 排出量 (万t)	124.5 (100.0%)	123.7 (99.3%)	131.1 (105.5%)	127.1 (102.0%)	114.3 (91.8%)	116.2 (93.3%)	105.8 (85.0%)	117.5 (94.4%)	106.4 (86.1%)	133.3 (107.1%)	127.2 (102.2%)
エネルギー原単位 (kl/億円)	23.80 (100.0%)	23.34 (98.1%)	22.44 (94.3%)	21.37 (89.8%)	21.37 (89.8%)	20.63 (86.7%)	20.63 (86.7%)	21.15 (88.9%)	21.15 (88.9%)	21.18 (89.5%)	21.29 (89.5%)
CO ₂ 排出原単位 (t-CO2/億円)	43.2 (100.0%)	41.6 (96.2%)	42.3 (97.8%)	39.6 (91.7%)	35.6 (82.5%)	36.4 (84.1%)	33.1 (76.6%)	37.3 (86.4%)	33.8 (78.2%)	43.0 (99.6%)	41.1 (95.0%)

(注1) 電力の実排出係数に基づいて算定。

(注2) 電力のクレジット等反映排出係数とクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

電気事業連合会・PPS以外の業界団体の排出量の算定式：

[(電力使用量×電力のクレジット等反映排出係数)+(燃料・熱の使用に伴うエネ起CO2排出量)]

－(業界団体・自主行動計画参加企業が償却したクレジット量等(注3))

＋(自主行動計画参加企業が他業種の自主行動計画参加企業等に売却した排出枠)

電気事業連合会・PPSの排出量の算定式：

(実排出量)

－(自主行動計画参加企業が償却したクレジット量等)

＋(自主行動計画参加企業が他業種の自主行動計画に参加する企業等に売却した排出枠)

(注3) クレジット量等とは、京都メカニズムによるクレジット・国内クレジット・試行排出量取引スキームの排出枠を指す。

8

3. 低炭素社会実行計画の目標と課題

○目標: 2020年度時点の自主行動計画参加企業の売上高32,000億円を前提とし、2010年度の原油換算原単位21.15kl/億円を年平均1%改善し、2020年度には19.13 kl/億円までの改善を目指し、CO2排出量は、106万トンから8.5万トン削減し、97.5万トンとすることを旨とする。

- ・設定根拠: 原油換算原単位を2010年度以降、年平均1%削減する施策として、原単位改善に寄与している空調関係及び動力関係の設備更新、新設等を計画的に実施します。更に消費エネルギーの「見える化」を推進して、効率的なエネルギー利用を図ります。
(炭素排出係数は2010年度と同じとする。)
- ・課題 (以下のような革新的技術の開発を進めている。)
 - ・省エネ型印刷設備導入(デジタル印刷機、高効率印刷機など)
 - ・低温乾燥システム・技術の開発
 - ・印刷乾燥工程の省エネ(UV光源のLED化、印刷インキのハイソリッド化、印刷版の浅版化、乾燥排熱の有効活用)

9



○2020年度の想定排出量等について

基準年度実績 (2005年度) (総排出量等)	2020年度 (2012年時点における想定・見通し)
124.4 (万t-CO2)	117.9 (万t-CO2)
685,571 (原油換算kl)	662,950 (原油換算kl)
1,885,414 (千kWh)	1,484,178 (千kWh)

* 本年度における見込みでは、2020年度目標97.5万t-CO2に対し、117.9万t-CO2となる。

* CO2算定の電力排出係数は、2005年度: 3.79t-CO2/万Kwh、2020年度: 4.60t-CO2/万Kwhを用いた。

※活動量指標:

印刷業界は、製品構成が非常に多岐にわたり、生産量で統一的に活動量を表すことが困難である。そのため、把握可能な年間売上高を活動指標とした。



○今後実施予定の対策

2012年度、2013年度に実施予定の対策は、以下のとおり。

* 空調関係のオンデマンド管理、照明設備のLED化等で、大きくCO2削減を見込んでいます。

実施する対策	2012年度計画		2013年度計画	
	投資額 [千円]	CO2削減分 [t-CO2]	投資額 [千円]	CO2削減分 [t-CO2]
照明関係	164,693	1,093	85,242	751
空調関係	2,902,099	13,940	2,025,605	11,018
動力関係	1,087,588	7,007	597,668	6,947
受変電関係	166,850	184	54,100	668
その他	428,356	6,807	195,350	4,961
合計	4,749,586	29,031	2,957,965	24,345

以上